

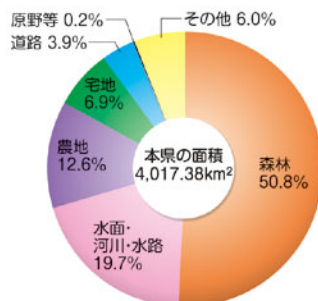


地

勢

- 日本列島のほぼ中央に位置し、面積は国土の約1%に相当する4,017.38km²で、全国第38位。
- 周囲を伊吹、鈴鹿、比良などの1,000mを超える山々に囲まれた盆地。
- 中央には県土の総面積の約6分の1を占める、我が国最大の湖である琵琶湖(669.26km²)がある。
- 周囲の山々から支流を含めると約450本(うち117本の一級河川が直接琵琶湖へ流入)の大小の河川が琵琶湖に注ぎ、途中、扇状地や三角州をつくりながら近江盆地を形成。
- 琵琶湖に流入した水は、唯一の流出河川である瀬田川より宇治川、淀川流域に注ぎ、一部は琵琶湖疎水を通じて京都へ流れ込む。
- 琵琶湖は、滋賀県をはじめ近畿約1,450万人の飲料水や産業基盤となる用水など貴重な水資源を供給。
- 琵琶湖は、祖先となる湖を含めると約440万年もの歴史をもつ世界有数の古代湖。
- 琵琶湖は、生物の種類が豊かで約1,600種の動物と約1,400種の植物が生息。
うち、固有種は60種以上報告。
- 琵琶湖は、平成5年(1993年)には、ラムサール条約(特に水鳥の生息地として重要な湿地に関する条約)の登録湿地となった。
平成20年(2008年)には県内最大の内湖である西の湖および長命寺川が拡大登録。

面 積



(令和4年度/県 県民活動生活課)

琵琶湖の概要

琵琶湖の集水域	3,174km ²
面積	669.26km ²
南北の延長	63.49km
最大幅	22.8km
最小幅	1.35km
周囲	235.20km
最大深	103.58m
平均深	41.20m
貯水量	275億m ³

(「滋賀の環境2023(令和5年度版環境白書)」県環境政策課)

県の木 もみじ



郷土の花 しゃくなげ



県の鳥 かいつぶり

